

令和5年度全国学力・学習状況調査 三郷市の分析（概要）

◆実施日	令和5年4月18日（火） ※中学校英語「話すこと」調査は、文部科学省から指定された日に実施 ※小学校児童質問紙調査オンライン実施校は、文部科学省から指定された日に実施
◆調査対象	市内の公立小・中学校の小学校第6学年、中学校第3学年
◆調査目的	全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的とする。
◆調査事項	【児童生徒に対する調査】 1 教科に関する調査 小学校第6学年…国語、算数 中学校第3学年…国語、数学、英語 2 質問紙調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する事項
◆教科に関する調査	1 平均正答率について 【小学校】 ○「国語」「算数」ともに、全国平均正答率を上回った。 【中学校】 ○「国語」「数学」「英語」のすべてで、全国平均正答率を下回った。 2 問題別の平均正答率について 【小学校】 ○「国語」では、「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること」「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること」を扱った問題において、全国平均正答率を大きく上回った。 ○「算数」では、「示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述する」「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述する」問題において、全国平均正答率を大きく上回った。 【中学校】 ○「国語」では、「文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする」問題において、全国平均正答率を上回った。 ○「数学」では、「累積度数」についての理解度を問う問題において、全国平均正答率を上回った。 ○「英語」では、「『事実・情報を伝える』と『考えや意図を伝える』という言葉の働きを理解し、事実と考えを区別して読む」問題において、全国平均正答率を上回った。 ○「英語・話すこと」では、「日付に関する基本的な表現を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているか」を問う問題において、全国平均正答率を上回った。
◆質問紙調査	【小学校】 ○「家で自分で計画を立てて勉強している」、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強している」と回答する児童の割合が全国平均を大きく上回った。 【中学校】 ○「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強をしている」と回答する生徒の割合が全国平均を大きく上回った。 ○「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」等の質問で、全国平均を大きく上回った。